

## 「予算特別委員会」委員として、県の新年度予算審議を行いました

私は、県議会「予算特別委員会」委員として、県の「平成26年度予算案」の審議を行いました。

今回の質問は、下記の4項目でした。

- ①『CO<sub>2</sub>削減のためのJ-クレジット制度の活用について』（環境部予算）
- ②『県組織再編に伴う病害虫防除所の機能について』（農林水産部予算）
- ③『モンゴル国と本県の経済連携について』（商工部予算）
- ④『県発注公共工事の前倒し発注による入札不調について』（県土整備予算）



今回の質問では、県の施策を質すと共に、今後の県政に対する政策提言を始めた内容としました。

「予算特別委員会」  
3/18、3/19、3/20  
質問に立ちました。

## 県の新年度予算で西鉄「薬院駅」駅舎耐震改修工事を実施します。

と  
一  
年  
度  
な  
り  
南  
側  
ま  
す  
に  
あ  
る  
橋  
脚  
の  
う  
ち



西鉄「薬院駅」（中央区薬院）について、福岡県は新年度（平成26年度）予算に駅舎耐震改修工事のための予算を計上しています。

この事業は「災害に強いまちのづくりのため、震災時に主要駅の広域的な利用者の安全を守り、災害時の避難拠点となる主要なターミナル鉄道駅の耐震化を進める」ためのものです。

今年度は、駅舎の南側の橋脚補強工事となり、県は3,156万円の予算を計上しています（予算負担割合：国1/3、県1/6、市1/6、鉄道事業者1/3）。

西鉄「薬院駅」の一日あたりの乗降人員は約3万6千人に上り、福岡県内では主要駅として位置付けられています（JR「博多駅」は約22万人、西鉄「大橋駅」は約3万4千人）。

福岡県として、市民の安全を守り、公共インフラを守るために、震災対策のための事業をしっかりと進めています。

## 一般質問の成果！ 提案した施策が県の新規事業として予算計上されました！



2013年12月11日「12月県議会」一般質問

2013年「12月県議会」において、12月11日、一般質問に登壇しました。今回は、1)「医療勤務環境改善支援センターについて」、2)「地域医療現場の防災対策について」質問しました。

この質問に政策提言により、県の新年度予算（平成26年度予算）に新規事業・施策が予算計上されました。

1)の「医療勤務環境改善支援センター」設置については、近年、医療現場の人材不足、日常業務で疲弊する医療スタッフの離職問題が顕著となっており、医師や看護師等を含む、医療関連職種の勤務環境を改善し、医療安全の確保及び医療の質の向上を図ることから、本県に「医療勤務環境改善支援センター」を設置し、県直営で事業運営を図るべきとするものです。

質問の結果、新年度予算に384万円が計上され、本県に「医療勤務環境改善支援センター」設置が決まりました。

2)の「地域医療現場の防災対策」については、2012年10月11日、博多区の有床診療所で患者10人が死亡するという火災が発生しました。そこで、二度と同じ過ち、人災を起こさないため、有床診療所並びに病院施設への防災対策を求めました。

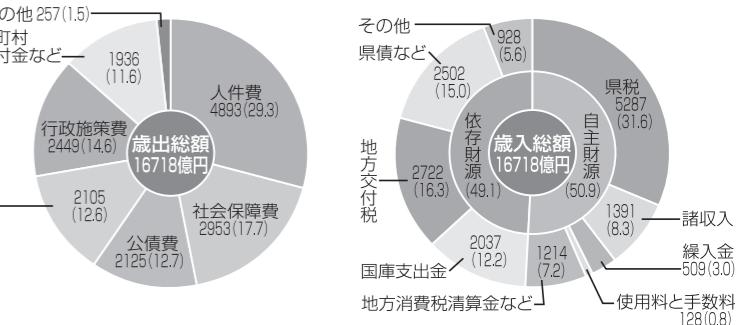
県の新年度予算として7億4,500万円が計上されました。内容は、①有床診療所、有床助産所、病院のスプリンクラー設置等に対する助成などです。加えて、②増築部分に防火扉や換気ダクトなどの排煙設備がなく、建築確認申請も行っていないなど、無届けで建築や増築を行う悪徳建築業者の対策を行う。③有床診療所（19床以下）のうち、地下や3階以上にある施設や300平方メートルを超える施設について、「建築基準法」に基づく防火扉点検などの定期報告を義務付ける（報告は3年に一度）、などとなっています。（質問の模様はホームページをご覧ください。 <http://haranaka.jp/>）

## 県の新年度予算は1兆6,718億円

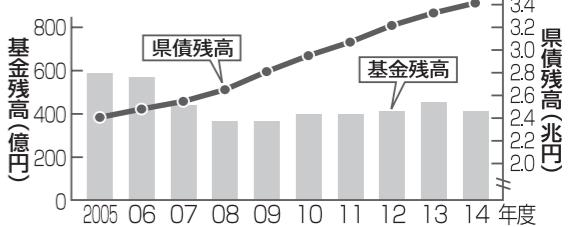
～対前年比401億2,995万円、2.5%の増！～

### 2014年度 福岡県一般会計当初予算

数字は億円、カッコ内は構成比%。金額は億円未満を、比率は小数点2位をそれぞれ四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。



基金と県債残高(県の借金)の推移



福岡県の新年度（平成26年度）当初予算が決定しました。総額1兆6,718億3,342万円、前年度比401億円、2.5%の増となっています。これは、景気回復による法人2税の伸びや消費税増税の影響で、県税収入の伸びが見込まれることなどによります。

新年度当初予算は、県民生活の向上、着実な景気回復を図ることを基本方針に編成されています。

まず、4月からの消費税率引上げに伴う県内景気の腰折れを回避し、地域経済の足元をしっかり固め、雇用を守っていくため、「平成25年度補正予算」と「平成26年度当初予算」を合わせた14か月予算となっています。

歳出面の特徴として公共事業費は対前年比103.2%の伸びとなっています。

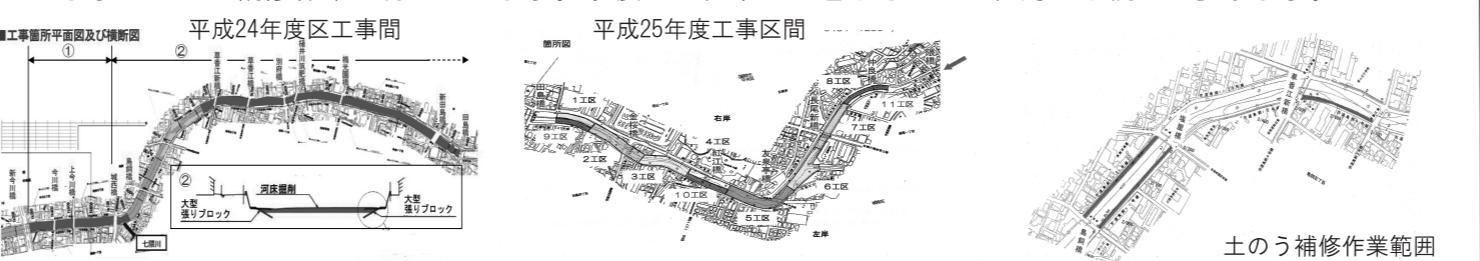
具体的な政策の柱としては、一つには、女性や高齢者が大いに活躍し、障害がある人も自立し、お互いに支え合う「誰もがいきいきと活躍できる社会」の実現を目指しています。二つ目に、次代を担う子どもたちの学力の向上を強力に進めるとともに、世界に挑む人材を育成するなど、「未来を切り拓く人材の育成と文化・スポーツの振興」に積極的に取り組みます。三つ目に、事前防災・減災対策を加速化し、とりわけ大規模地震に備えた対策を集中的に実施するとともに、暴力団対策、飲酒運転の撲滅、性犯罪の防止対策を推し進めなど、県民生活の土台である「安全・安心の向上」にしっかりと取り組むこととしています。

こうした積極予算の半面、県債（県の借金）の発行額は2,502億円で、平成26年度末の県債残高（県の借金）は過去最高の3兆4,097億円に膨らむ見込みとなっています。今後、財政健全化の着実な推進のため、県債発行額を減少させ、県債残高を減少していくとともに、歳入・歳出全体を徹底して見直す必要があります。

## ＜樋井川・那珂川の河川改修工事は順調に進んでいます＞

「平成21年7月中国・九州北部豪雨」により、樋井川、那珂川が氾濫、中央区内でも大きな被害が出ました。両河川を管理する福岡県は、再び河川氾濫等の被害を出さないため、緊急的かつ集中的な河川整備として、平成22年度より、5年計画で「床上浸水対策特別緊急事業」（浚渫・護岸工事等）を実施しています。

樋井川では、最下流の「百道浜橋」（「福岡ドーム」横）から工事が始まり、今年度は「田島橋」上流から「仲良橋」上流の間で工事が行われています。なお、これまで「草香江橋」から「鳥飼橋」の区間に設置されています土のうの補修作業も行っています。今後とも、市民生活を守るため、努力を続けて参ります。

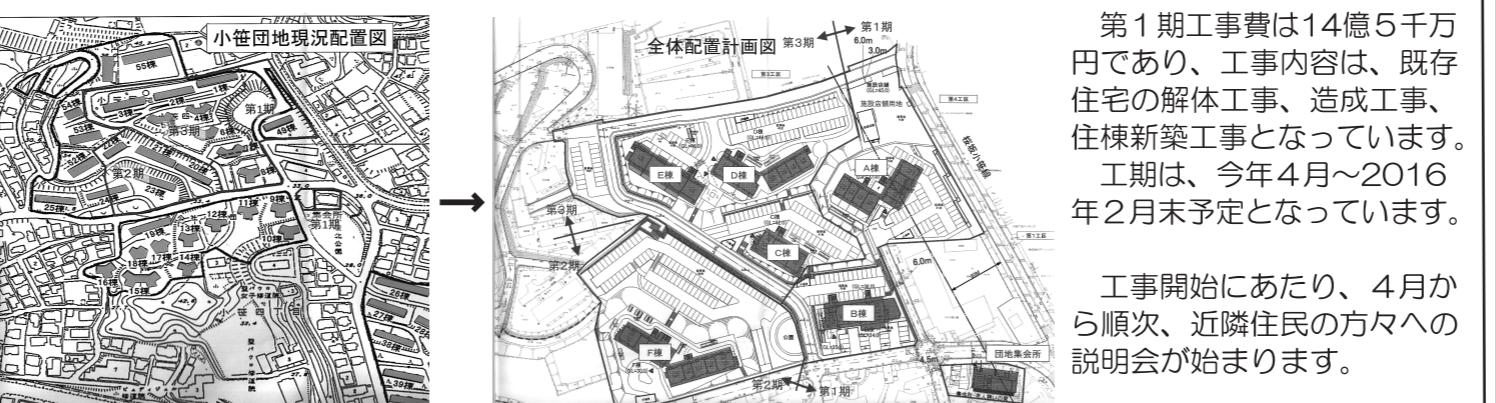


## ＜小笹団地再生(建替)第1期工事が始まります＞

中央区小笹にあります「小笹団地」（県住宅供給公社管理）が建て替えとなります。対象となるのは、北側の1~8棟、20~24棟、49棟で、全3期に分け、順次、工事が行われます。今回は、第1期となります。

第1期工事費は14億5千万円であり、工事内容は、既存住宅の解体工事、造成工事、住棟新築工事となっています。

工期は、今年4月～2016年2月末予定となっています。



工事開始にあたり、4月から順次、近隣住民の方々への説明会が始まります。